

モロゾフ株式会社

2021年1月期 決算説明資料

2021年4月

● 2021年1月期 決算サマリー

(単位:百万円、% 百万円未満切捨て)

	20年1月期			21年1月期			対前期比		
	金額	売上比		金額	売上比		金額	増減率	
売上高	29,523	100.0		25,672	100.0		△3,850	△13.0	
営業利益	1,674	5.7		751	2.9		△ 922	△55.1	
経常利益	1,708	5.8		862	3.4		△ 846	△49.5	
当期純利益	1,095	3.7		352	1.4		△ 743	△67.9	
一株あたり当期純利益(EPS)	309.61円			100.17円			△209.44円		
自己資本利益率(ROE)	6.7%			2.1%			△ 4.6%		
総資産経常利益率	7.2%			3.6%			△ 3.6%		
売上高営業利益率	5.7%			2.9%			△ 2.8%		
配当金	第2四半期	期末	合計	第2四半期	期末	合計	第2四半期	期末	合計
	50円	50円	100円	0円	60円	60円	△50円	+10円	△40円

●売上面の状況

2021年1月期の売上高は、新型コロナウイルスの感染拡大に伴って、大きな影響を受けることとなりました。

2月のバレンタイン商戦は概ね堅調に推移いたしましたが、3月からは新型コロナウイルス感染拡大の影響が出始め、4月の緊急事態宣言の発出に伴い商業施設の休業や時間短縮、外出抑制などが実施されたことで、売上高は前年比で4月は46%、5月は60%と、大幅な落ち込みとなりました。

緊急事態宣言が解除された6月以降は、個人消費は持ち直しに転じたものの、「3密」を避ける消費行動の定着や、繰り返す感染再拡大の影響で、売上高は前年を下回る状況が続きました。また、感染の収束と拡大に伴って売上は増減することとなりました。

1月には再度、緊急事態宣言が出されて、店頭での販売は落ち込んだものの、ネットや宅配ルートでのバレンタイン商品の売上が好調に推移したことで、売上は93%を確保することができました。

この結果、通期の売上高は25,672百万円、前年比87.0%となりました。

売上高前年比(単位:%)

2月	3月	4月	5月	6月	7月	上期	8月	9月	10月	11月	12月	1月	下期	合計
97.2	78.2	46.4	60.6	90.6	89.9	82.9	79.9	89.7	93.0	90.1	92.5	93.1	90.6	87.0

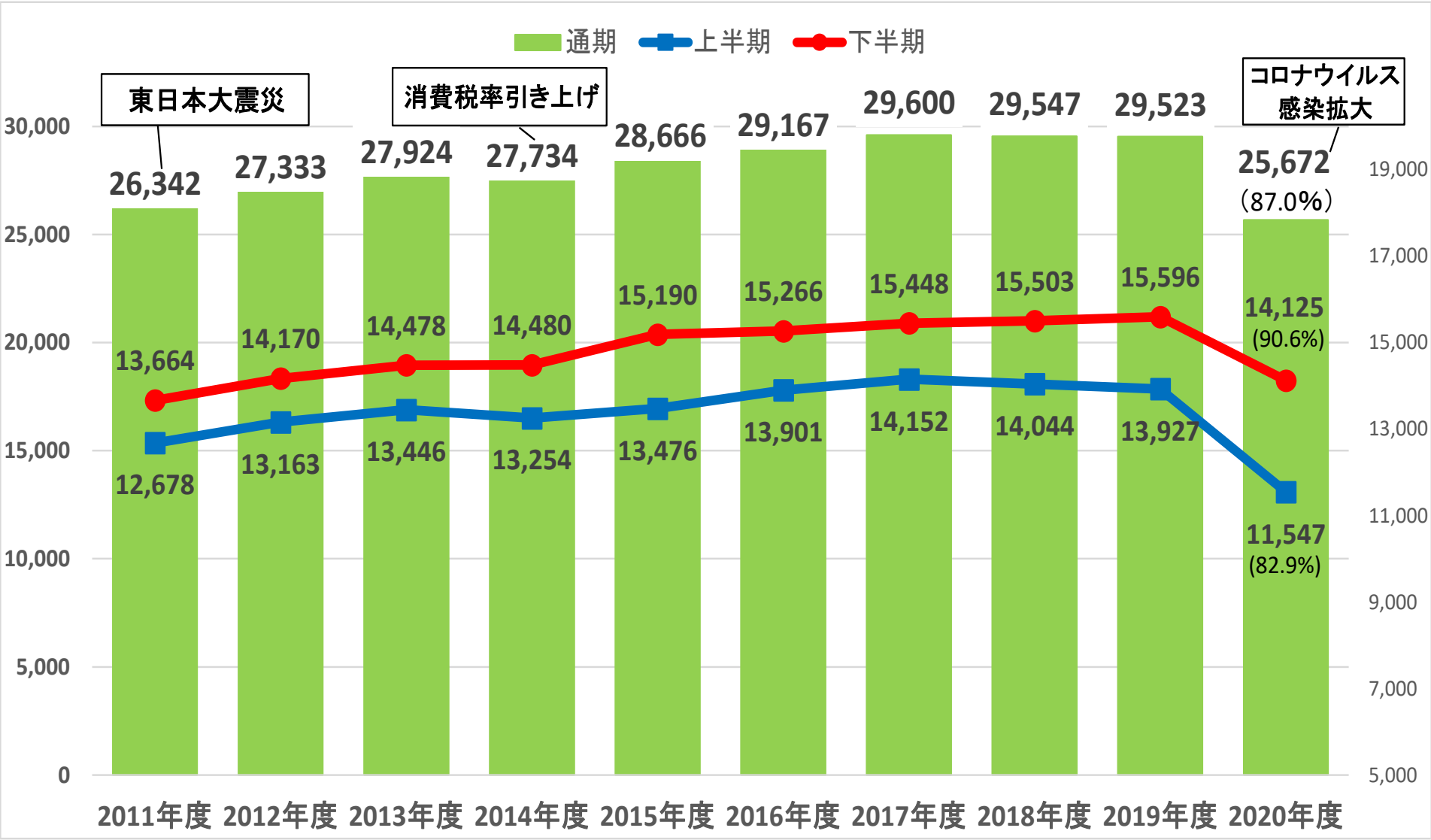
緊急事態宣言 (4月, 5月, 6月)

感染拡大第2波 (8月, 9月)

緊急事態宣言 (12月, 1月)

●売上高推移(通期・上・下半期)

(単位:百万円)



●セグメント別の販売実績(洋菓子製造販売事業)

(単位:百万円、% 百万円未満切捨て)

	20年1月期		21年1月期		増減金額	前期比
	金額	構成比	金額	構成比		
干菓子群	20,652	70.0	18,162	70.7	△2,489	87.9
洋生菓子群	6,406	21.7	5,691	22.2	△ 715	88.8
その他菓子群	817	2.8	681	2.7	△ 136	83.4
洋菓子製造販売事業計	27,876	94.4	24,535	95.6	△3,340	88.0

商品群別の主な製品

干菓子群 : チョコレート、キャンディ、焼菓子、デザート(ファンシーデザート等)、詰合せ等

洋生菓子群 : チルドデザート(カスタードプリン等)、ケーキ(チーズケーキ等)、半生菓子(プロドラント)等

その他菓子群: 焼きたてクッキー、グラスオショコラ等

干菓子につきましては、バターにこだわった焼菓子の新ブランド「ガレット オ ブール」の新規出店や催事展開に加え、インターネット販売に注力し売上獲得に努めたものの、新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、焼菓子や土産、ギフト商品などの売上が苦戦し、前事業年度を大幅に下回る売上高となりました。

洋生菓子につきましては、「ロイヤルクリームチーズケーキ」などの好調や期間限定新商品「とろ生チーズケーキ」の発売に加え、厳選した素材を使用した半生菓子ブランドのリニューアルなどにより売上向上を図ったものの、新型コロナウイルスの感染拡大の影響もありカスタードプリンやシーズンプリン、ゼリーなどが減少し、前事業年度を下回る売上高となりました。

●セグメント別の販売実績(喫茶・レストラン事業)

(単位:百万円、% 百万円未満切捨て)

	20年1月期		21年1月期		増減金額	前期比
	金額	構成比	金額	構成比		
干菓子群	20,652	70.0	18,162	70.7	△2,489	87.9
洋生菓子群	6,406	21.7	5,691	22.2	△ 715	88.8
その他菓子群	817	2.8	681	2.7	△ 136	83.4
洋菓子製造販売事業計	27,876	94.4	24,535	95.6	△3,340	88.0
喫茶・レストラン事業計	1,647	5.6	1,137	4.4	△ 509	69.1
合計	29,523	100.0	25,672	100.0	△3,850	87.0

喫茶・レストラン事業につきましても、緊急事態宣言時には出店先商業施設の休業や営業時間が短縮となりました。宣言解除後も感染予防のために席数を制限するなどの対策をとったことや、外出自粛による来店客数の減少も続くなど、新型コロナウイルス感染拡大の影響を大きく受けました。

菓ごもり需要の増加に対応すべく、一部店舗においてパフェやホットサンドなどのテイクアウトメニューを強化いたしました。新型コロナウイルス感染拡大の影響は大きく、前期比69.1%の売上高となりました。

●損益面の状況

(単位:百万円、% 百万円未満切捨て)

	20年1月期		21年1月期		対前期比	
	金額	売上比	金額	売上比	増減額	比率増減
売上高	29,523	100.0	25,672	100.0	△ 3,850	—
売上原価	15,237	51.6	13,552	52.8	△ 1,685	+ 1.2
売上総利益	14,285	48.4	12,120	47.2	△ 2,165	△ 1.2
販売管理費	12,611	42.7	11,368	44.3	△ 1,242	+ 1.6
営業利益	1,674	5.7	751	2.9	△ 922	△ 2.7
経常利益	1,708	5.8	862	3.4	△ 846	△ 2.4
当期純利益	1,095	3.7	352	1.4	△ 743	△ 2.3

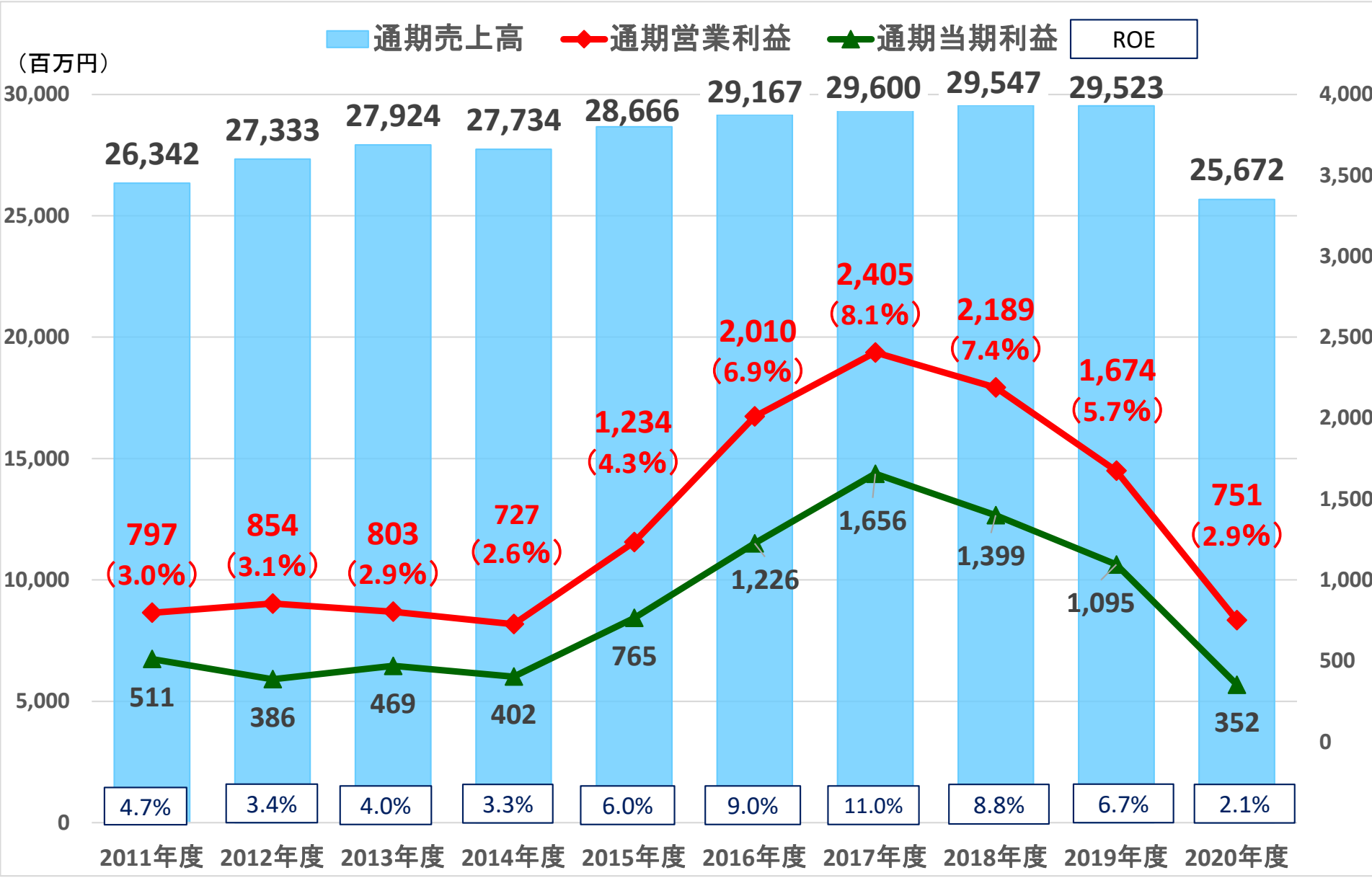
売上高の減少に伴い生産高が減少したことで、工場の生産性は悪化いたしました。しかし、売上の変動を見据えて柔軟に生産計画や人員配置を見直すことで、売上原価率の上昇抑制を図りました。

また、雇用を維持しつつも適切に人員をコントロールすることで人件費を抑制するとともに、設備投資や販促費などの諸経費の圧縮にも努めました。

この結果、売上高の大幅な減少に伴って、大きく減益となりましたが、プラスの利益水準は確保することができました。

(なお、2021年1月期は、新型コロナウイルス感染拡大に伴う休業等による人件費139百万円を、従業員休業補償等として特別損失に計上しております。)

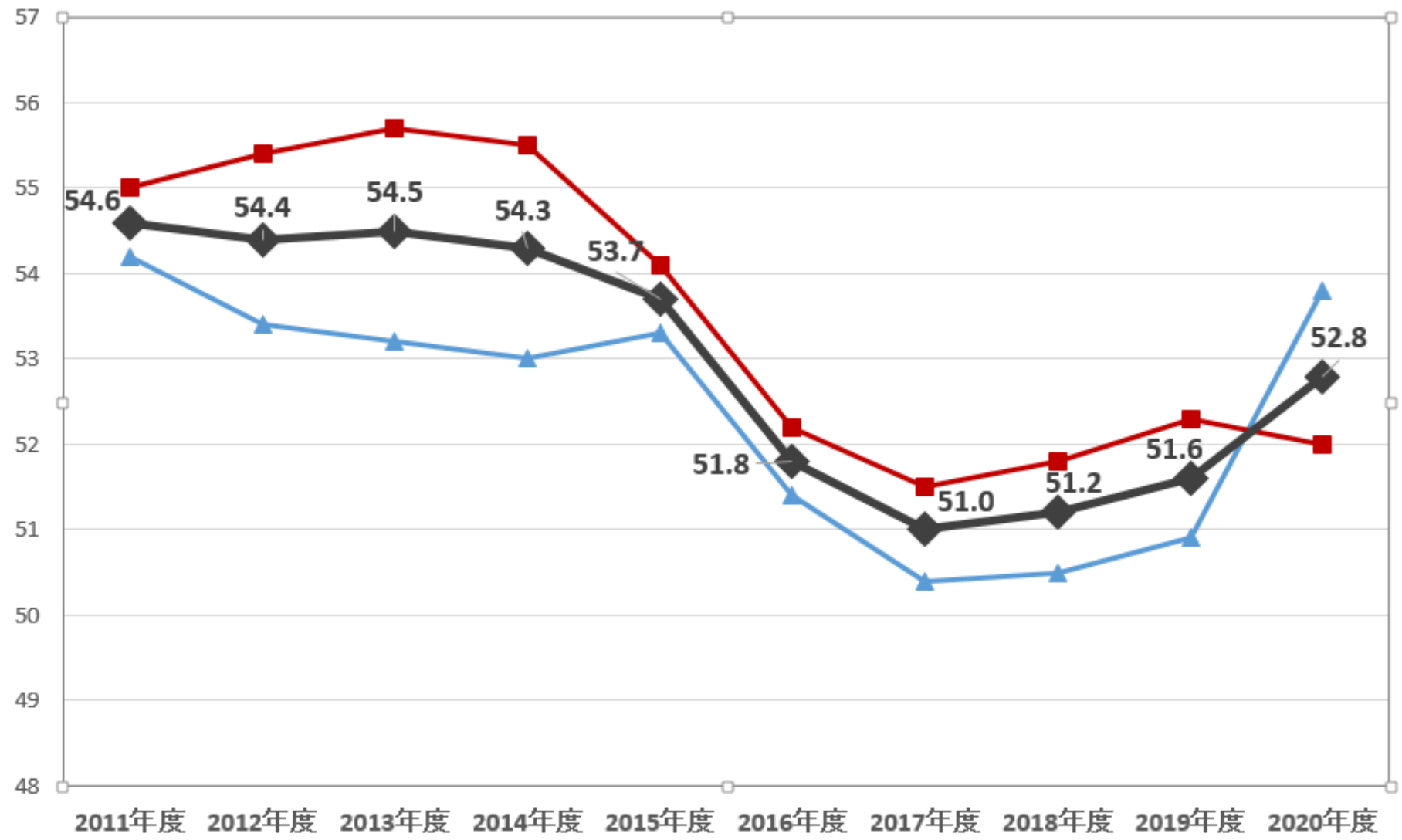
●通期業績推移



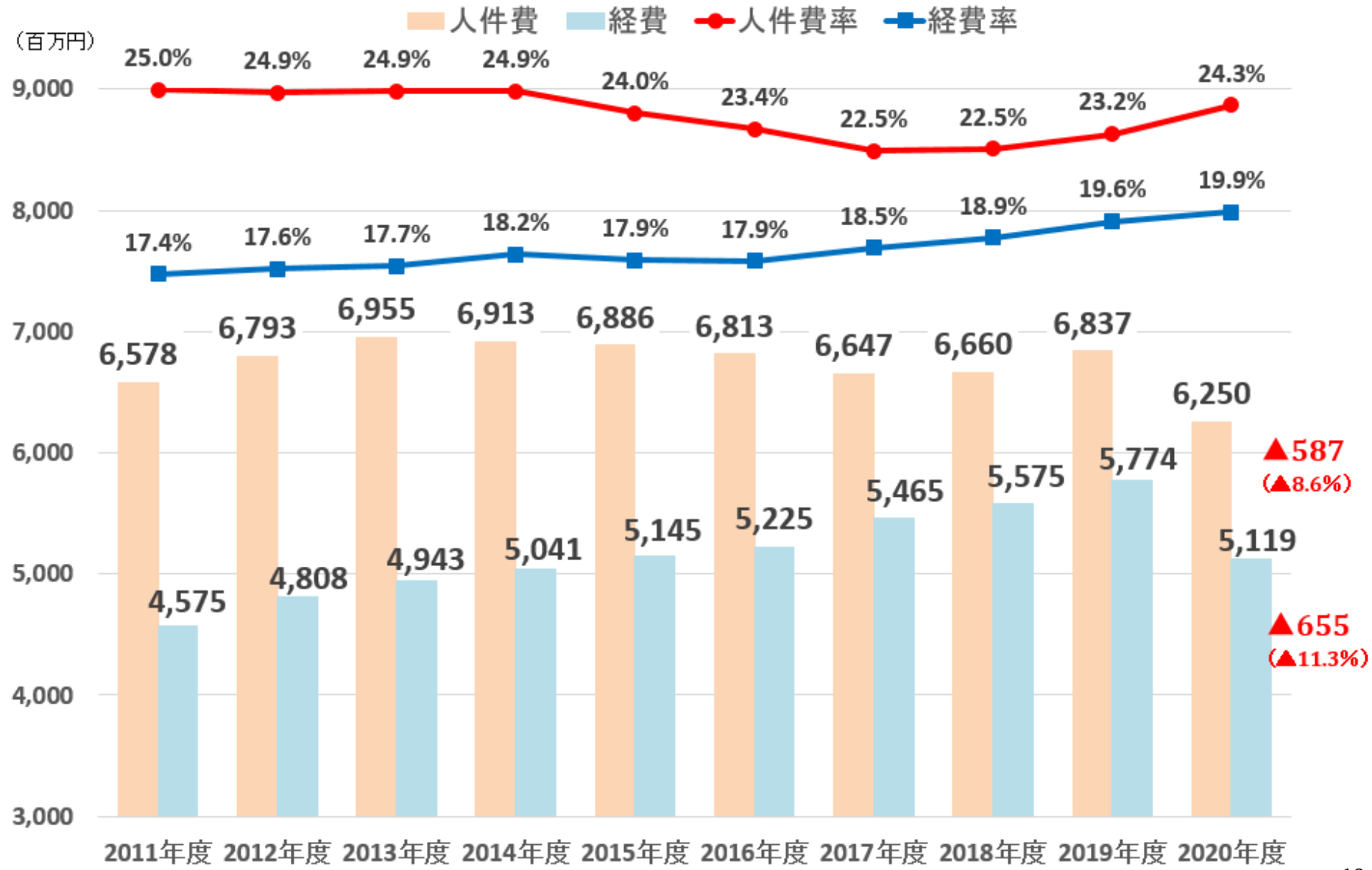
●売上原価率推移(通期・上・下半期)

(単位: %)

▲上半期 ■下半期 ◆通期



●販売費および一般管理費の推移



●貸借対照表サマリー

(単位:百万円 百万円未満切捨て)

資産の部	2020年 1月期	2021年 1月期	増減	負債の部	2020年 1月期	2021年 1月期	増減
流動資産				流動負債			
現金及び預金	2,306	3,417	1,110	電子記録債務	1,824	1,706	△118
売掛金	5,688	5,671	△16	買掛金	1,126	926	△200
有価証券	1,199	0	△1,199	短期借入金	1,850	1,850	0
その他流動資産	3,112	2,916	△196	その他流動負債	1,761	2,124	363
流動資産合計	12,305	12,004	△301	流動負債合計	6,561	6,606	45
固定資産				固定負債合計			
有形固定資産	8,028	7,645	△382	負債合計	7,087	7,261	173
無形固定資産	154	120	△34	純資産の部			
投資その他の資産	3,189	4,269	1,079	株主資本	15,872	16,046	174
固定資産合計	11,372	12,035	662	評価・換算差額金	718	731	13
				純資産合計	16,591	16,778	187
資産合計	23,678	24,039	360	負債・純資産合計	23,678	24,039	360

●中期経営計画の目標数値の変更

2021年1月期より中期経営計画『Re morozoff 2022 ～変革～』「2nd Step」(2021年1月期～2023年1月期)に取り組んでいます。新型コロナウイルスの影響を踏まえ、中期経営計画の目標数値を2021年1月に修正しております。

修正しました目標数値

	2023年1月期目標	
	変更前	変更後
売上高	29,600百万円	28,000百万円
営業利益率	5.0%	4.5%

実績、予想と目標数値

※21年1月期は特別有休による人件費139百万円を特別損失に振替えている。

(単位:百万円、%)

	2021年1月期実績※		2022年1月期予想			2023年1月期目標		
	金額	売上比	金額	売上比	対前年増減	金額	売上比	対前年増減
売上高	25,672	100.0	26,500	100.0	827	28,000	100.0	1,500
営業利益	751	2.9	860	3.2	108	1,260	4.5	400
経常利益	862	3.4	900	3.4	37			
当期純利益	352	1.4	500	1.9	147			